

第27回 全国消防救助技術大会



主催 財団法人 全国消防協会

後援 自治省消防庁・全国消防長会・日本財団



WORLD-WIDE RESCUE '98

(世界へはばたくレスキュー'98)

1998. 8. 28 大阪市消防学校



自治体消防発足五十年にあたる記念すべき年に、第二十七回全国消防救助技術大会が去る八月二十八日、大阪市消防学校において、谷合消防庁長官をはじめ多くの来賓を迎えて、「ワールド・ワイド・レスキュー'98」をスロ―ガンに盛大に挙行された。

この大会は、(財)全国消防協会の主催により、自治省消防庁、全国消防長会、日本財団の後援を得て、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃、鍛え抜かれた消防救助技術を遺憾なく発揮し、堂々と力一杯、訓練の成果を披露するとともに、日々複雑多様化する各種の災害に即応できる能力及び技術研鑽の場として、昭和四十七年から日本財団の補助を受け毎年開催している。

全国消防救助技術大会が今回で七年ぶり五回目の開催となる大阪市は、昨年「なみはや国体」と「ふれ愛びつく大阪」を成功裡に終わらせ、さらに二〇〇八年オリンピックの開催を目指し「地球市民のオリンピック」を基本理念とし、「国際集客都市大阪」の実現に努めるとともに、願ったことがかなう「Can do」のまち「感動シティ大阪」としてさらなる発展を続けている。

大会当日は、台風4号の影響で朝から雨に

見舞われたが、早朝より全国から応援に駆け付けた一般市民や消防関係者等約二、五〇〇人で埋めつくされた会場は、開会前から熱気と興奮に包まれた。

定刻の九時〇〇分、全国九地区支部から選抜された精鋭救助隊員の威風堂々とした入場行進が開始され、大会運営委員長である池田大阪消防局長が声高らかに開会を宣言し、第二十七回全国消防救助技術大会の幕が開けられた。

開会式ははじめに、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対し黙とうを捧げ、国旗・大会旗・市旗を掲揚後、大井(財)全国消防協会会長、磯村大阪市長のあいさつ、谷合消防庁長官(代理・滝沢消防庁次長)、横山大阪府知事(代理・金盛大阪府副知事)、太田大阪市会議長(代理・加藤大阪市長副議長)の祝辞、そして多数の方々の祝電を代表して西田自治大臣の祝電披露と続き、木戸北九州市消防局長が審判長指示を行った後、出場隊員を代表して、大阪市消防局長の権得順一隊員から「安全・確実・迅速を旨とし正々堂々と訓練します」と力強い宣誓が行われた。

開会式終了後、訓練が始まるまでの間、梅花女子大学チアリーディング部「レイダース」による華麗でスリルある特別演技が行われ、緊張感が張り詰めた会場の雰囲気をもたらした。引き続き、政府開発援助の一環として国際協力事業団(JICA)が実施している集団研修に参加し、北九州市消防局と大阪市消防局で、消火及び救急・救助技術の研修を行っている海外研修生十九名が、「世界へはばたくレスキュー'98」のスロ―ガンに相応しく、車両火災の消火と人命救助の特別訓練を実施し、現在学んでいる消火技術と救急救助技術の研修成果を披露した。

いよいよ、訓練の再開である。

陸上の部九種目・水上の部七種目にエント

リーする全国九三九名の隊員たちが、高鳴る鼓動と緊張の中で、救助隊員である誇りを胸に筋書きのない感動のドラマを演じていく。訓練が開始されると、会場を埋めつくした見学者から、隊員たちの躍動的で、またある時は繊細な姿に惜しめない拍手と張り裂けんばかりの声援が送られ、隊員たちも、これに応えるかのように、フアイト溢れる闘志で日頃の訓練成果を披露した。朝からくずついていた天候も、昼近くになると回復し、ムードは一段と盛り上がり、隊員と見学者がひとつとなつてつくりあげた全国大会となった。

会場周辺では、訓練を終えた救助隊員がお互いの健闘を讃え合う姿や再会を望む姿が随所で見受けられ、全国救助隊員の友好の輪は、またひとつ大きなものとなった。

訓練終了後、閉会式までのひととき、大阪消防音楽隊とカラーガード隊「ファイア・フェニックス」により華麗なドリル演技が行われ、つい先ほどまで緊張と興奮に包まれていた会場の雰囲気は解きほぐされた。

閉会式では、大井会長から「規律厳正、士気旺盛にして、練度の高い救助技術が披露された。本大会へ出場するまでの長期間、厳しい訓練を積み重ねてこられたことに敬意を表するとともに、今後も地域住民の負託に応えられるよう、より一層の救助技術の錬磨研鑽に努めていただきたい。」との講評があった。

国旗降納に続き、大会旗が池田大阪消防局長から次回開催の西村横浜消防局長に手渡され、堅い握手が交わされた後、池田大阪消防局長が閉会を宣言すると「横浜であいましょう」の横断幕が掲げられ、第二十七回大会は終演を迎え、主役を演じた隊員たちの長く厳しかった夏に幕が降ろされた。

猛暑の中で、会場設営及び大会の運営に当たられました大阪市及び大阪市消防局に対し、衷心より感謝申し上げます。



あいさつ
(財) 全国消防協会
会長 大井 久 幸

本日、ここ大阪市において第二十七回
全国消防救助技術大会を開催するにあたり、
消防庁長官殿、大阪府知事殿、大阪
市長殿をはじめ、多数のご来賓のご臨席
を賜り、このように盛大に開催できます
ことを厚くお礼申し上げます。

この大会は、各種災害から地域住民を
守るため、高度な救助技術の錬磨、強靱
な体力と精神力を養成することなどを目的
に、日本財団の補助を受け昭和四十七
年以降毎年実施しているものであります。
消防の救助技術は、隊員諸君のたゆま
ぬ訓練の積み重ねと、関係各位の救助資
機材の開発並びに活用技術の研究により
着実に向上しております。その成果は幾
多の困難な災害現場で遺憾なく発揮され、
多くの実績を残すとともに、国内外を問
わず高い評価を得ているところであります。

しかしながら、近年の社会環境、生活
様式の変化は、災害態様を複雑多様化さ
せ、今までに類のない災害の発生危険を
増大させております。

このような状況の中、我々消防機関が
行う救助業務に対する地域住民の期待は
一層高まっております。

本大会に参加している隊員諸君は、こ
うした実情を十分認識し、更に実戦的な
訓練を積み重ね、あらゆる災害に即応で
きる能力及び技術の習得に一層努めるよ
う切望するものであります。

本日は、日頃の訓練の成果を遺憾なく
発揮し、所期の目的が達成されるよう、
健闘を期待しております。

終わりになりましたが、本大会の開催
にあたり、特段のご高配を賜りました大
阪市ご当局並びに大阪市消防局の皆様は、
心からお礼申し上げますとともに、ご列
席の皆様は、ご健勝を祈念いた
しまして、挨拶といたします。



祝 辞
大阪市会議長(代理)
加藤正武



祝 辞
大阪府知事(代理)
金盛 弥



祝 辞
消防庁長官(代理)
滝沢忠徳



あいさつ
大阪市長
磯村隆文



次期開催地あいさつ
横浜市消防局長
西村 浩



審判長指示
北九州市消防局長
木戸一雄

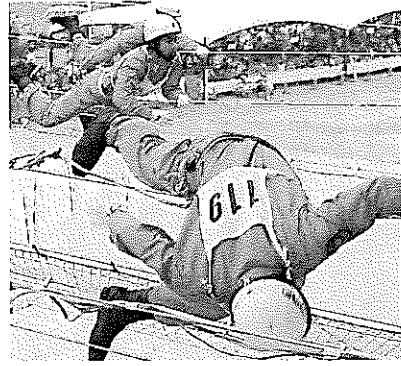


開会宣言
大阪消防局長
池田 勲

陸上の部

水平に展開した渡過ロープ二十メートルを、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。

ロープブリッジ渡過(個人)



表彰者

北海道	砂川地区広域(細)	北留 萌(細)	上川南部(第)	東北	青森地域広域(第)	鶴岡地区(第)	新発田地域広域(細)	三条地域	小出 郷	関東	大宮市(局)	千葉市(局)	市川市(局)	船橋市(局)	横浜市(局)	川崎市(局)	藤沢市(局)
	鎌田 哲也	杉沢 伸二	大島 基功		木立 栄作	太田 伸一	市川 晃	小柳 安彦	佐藤 昭一		宮崎 幸治	岡田 幸治	小林 穂	篠田 浩義	佐藤 信秀	大川内 暁生	福岡 隆二

逗子市	熊坂 篤範
松本広域(局)	米窪 敏明
藤枝市	岩見 仁嗣
御殿場市・小山町広域行政(細)	弦間 明広
裾野市	勝又 英也

東海

岡崎市	廣田 和久
西尾市	畔柳 宏康
海部南部(細)	細木 健治
伊賀南部(細)	藤岡 義信

東近畿

内灘町	中本 潤
敦賀美方(細)	田辺 寛之
彦根市	堀内 優一

近畿

大阪市(局)	中橋 健
西宮市(局)	藤本 弘也
西宮市(局)	竹本 聖一
宝塚市	長谷川大成

中国

益田地区(細)	三浦 拓
防府市	藤井 一幸
萩市	田村 真治

四国

松山市(局)	中矢 弘徳
--------	-------

九州

八女	金納 裕一
糸島地区消防厚生施設組合糸島	平野 秀貴
福岡県南広域(細)	諫山 正一
八代広域行政(細)	今尾 武志
天草(細)	澤田 豊大

引揚救助(団体)

五人一組(要救助者を言む)で、二人が空気呼吸器を着装して、塔下に降下、検索の後、要救助者を搬送し、四人で協力して塔上に引

揚げ、救助後ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホールでの災害事例から生まれた訓練。



表彰者

北海道	札幌市(局)	藤井 賢治
	池田 貴	
	酒井 智史	
	三島 誠二	
	成田 智昭	
	角 隆史	
	平山 智史	
	橘 清一	
	慶伊 大輔	
	平井 秀奉	
東北	福島市	古川 琢弥
		藤田 元昭
		熊坂 秀喜
		丹治 秀樹
		佐々木 時靖
		吉川 雅史
		柏原 弘行
		長谷川 巨
		佐藤 康宏
		長谷川 裕晃
関東	狭山市	岸 文隆
		中込 良昌
		小山 雅則

三郷市

浦安市

東京消防庁

横須賀市(局)

相模原市

静岡市

東海
名古屋(局)

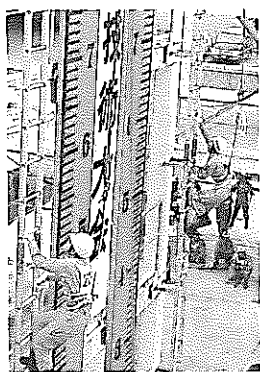
小牧市

鈴木 昌信	岡本 良法	市川 裕章	小野 元久	森谷 光一	森池 勉	菊池 和彦	斎藤 善一	宇田川 憲次	藤松 善一	大野 憲治	森田 真也	黒瀬 友雄	武藤 久	安藤 悟	菊池 幸一	菊池 幸一	高橋 聖治	三輪 健一	片岡 宏行	安田 浩史	近藤 祐二	宇井 彰治	山縣 洋希	五十嵐 康晴	児玉 裕隆	羽部 浩章	羽田 達郎	町田 剛	小林 正秀	栗田 勝太	中川 良正	坪井 訓之	海野 訓之	清水 隆義	浅井 雅和	赤尾 隆光	犬塚 義和	佐川 義和	又平 淳一	望月 丈司
-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

陸上の部

阿 四国	広島	中国	枚方	近畿	京都	東近畿
北(細)	島市(備)	高梁市	寝屋川(備)	大阪市(備)	都市(備)	富山市
宮本 尾花 小椋 皆田 甲斐 和田 池田 石川 山下 上村 山本 川本	元木 健作 隆美 充広 二郎 祐二 誠治 正己 益章 宏之 雅之	上田 栗田 清水 高橋 荒木 本池 佐藤 阪口 北岡 大塚	泉 木下 松野 岡山 飯田 川村 牧伴 内井 松井	伊藤 渡辺 矢田 聖英 敬造	伊藤 渡辺 矢田 聖英 敬造	伊藤 渡辺 矢田 聖英 敬造
利春 俊造 隆美 充広 二郎 祐二 誠治 正己 益章 宏之 雅之	晶 佳和 忍 利昌 富雄 主蔵 孝行 義博 秀朗 通寛	義基 徳一 芳則 賀一 浩司 勝吉 和宏 尚親 英樹 孝博	義基 徳一 芳則 賀一 浩司 勝吉 和宏 尚親 英樹 孝博	義基 徳一 芳則 賀一 浩司 勝吉 和宏 尚親 英樹 孝博	義基 徳一 芳則 賀一 浩司 勝吉 和宏 尚親 英樹 孝博	義基 徳一 芳則 賀一 浩司 勝吉 和宏 尚親 英樹 孝博

北海道	南渡島(準)	南渡島(準)	室蘭市	東北
盛岡地区広域行政圏	釜石大槌地区行政圏	新発田地域広域圏	小出郷	盛岡地区広域行政圏
佐藤 裕 佐藤 裕 佐藤 裕	佐藤 裕 佐藤 裕 佐藤 裕	佐藤 裕 佐藤 裕 佐藤 裕	三寺 智暢	佐藤 裕 佐藤 裕 佐藤 裕
小杉 光明	近藤 誠	咲間 晋		小杉 光明



はしご登はん(個人)
自己確保の命綱を結案後、十五メートルの垂直のはしごを登はんする。災害建物への進入など消防活動に欠かせない技術。

九州	北九州市(備)	鹿児島市(備)
安原 雅啓	住友 直哉	西 学
笠井 和典	吉木 輝仁	鬼武 伸樹
増留 晋	横山 貴志	濱田 隆幸
迫田 耕平	福山 博文	

中国	防府市	防府市	四国	海部(備)	中芸広域連合	九州	甘木・朝倉	福岡県南広域圏	佐世保市(備)	大隅肝属地区(備)
吉末 誠	伊藤 慎二	岡 浩幸	公文 伸保	塚本 栄士	古賀 章稔	迎 晃	郷原 英行			
岡野 耕司	綾垣 芳徳	寺田 真一	伊藤 真一	村上 教治	坪田 亮	酒井 亮治	水越 昭雄	河合 昭雄	田村 一郎	萩原 正夫
村上 教治	坪田 亮	酒井 亮治	水越 昭雄	河合 昭雄	田村 一郎	萩原 正夫	日比野 俊也	上村 洋平	川名 恵	佐藤 貴
村上 教治	坪田 亮	酒井 亮治	水越 昭雄	河合 昭雄	田村 一郎	萩原 正夫	日比野 俊也	上村 洋平	川名 恵	佐藤 貴

北海道	日高西部(備)	東北	横手平鹿広域市町村圏(備)	村山市	関東	川口市	東京消防庁
丹羽 智尚	松平 貴洋	福岡 成幸	原田 明宏	木島 秀明	石橋 祐輔	高橋 史直	笹原 宏文
高橋 史直	笹原 宏文	真樹 真樹	黒田 清美	永沢 正成	高橋 伸行	奥山 仁	



ほふく救出(団体)
三人一組(要救助者を含む)で、一人が空呼吸器を着装して八メートルの煙道を検索し、要救助者を屋外に救出、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街で煙にまかれた人を救助する基本的な訓練。

陸上の部

四国 中国 岸和田市 八尾市 近畿 守口市門真市(組) 京都中部広域(組) 東近畿 宇治市 あすけ地域(組) 東海 豊田市 田方地区(組) 座間市 平塚市

木村 充伸 和久井 康成 橋本 将志 大山 登 山下 勝治 三本 千春 大鹿 邦和 飛田 謙治 中島 廉彦 高柳 和也 山田 浩 安藤 茂樹 原田 晃輔 内山 和義 高橋 信弘 松井 和裕 中垣 太郎 表 篤史 石原 哲也 小山 敦史 明田 賢一 水主 純史 佐藤 秀実 松田 政隆 箕浦 康文 谷口 誠二 石井 満 松元 健二 大谷 佳右 篠原 圭司 山本 健司 大植 秋仁 原田 勝義 田村 寿則 村田 和巳

周 桑

九州 北九州市(局)

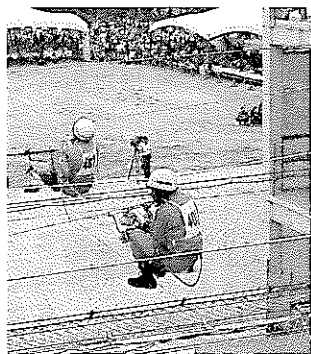
福岡市(局)

粕屋北部

菅 謙吾 真鍋 博樹 平塚 正樹 河崎 優 安永 克裕 田中 祐樹 伊藤 栄治 平山 博一 池田 祐 水上 和弥 吉村 義明 田中 英治

ロープブリッジ救出(団体)

四人一組(要救助者を含む)で、二人が渡過ロープにより対面する塔上に進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げ、けん引して救出後脱出する。逃げ遅れた要救助者を隣のビルから進入し、救出することを想定した訓練。



表彰者

北海道

札幌市(局)

齊藤 学 阿部 建好 清水

旭川市

東北 大曲仙北広域市町村圏(組)

盛岡地区広域行政(組)

仙台市(局)

伊達地方(組)

関東

川口市

川越地区(組)

浦和市

所沢市

上村 哲 棚田 忠昭 鎌田 崇宏 松本 嘉人 江幡 圭史

湯川 雅浩 齊藤 広幸 齊藤 典之 佐藤玲緒奈 兼平 仁詩 山本 恒二 對馬 隆二 吉田 潤 山田 敏夫 熊坂 武 飯塚 佳樹 森 勝規 三浦 恒男 野田 幸造 佐藤 弘二 菅野 清人

中山 繁人 秋山 俊文 鈴木 淳 酒井 實 安藤 鉄哉 宮本 直樹 鶴田 賢司 深井 裕 笠川 秀明 宮本 純一 立沢 志郎 金子 知之 塩野谷 藤雄 並木 昭憲 日高 浩二 福島

安房郡市広域市町村圏(組)

横浜市(局)

藤沢市

小田原市

浜北市

東海 岡崎市

海部南部(組)

東近畿 京都市(局)

西和(組)

吉野広域行政(組)

里見 成司 根本 弘 洲永 雄治 上野 章吉 山形 秀樹 今川 博司 一戸 彰 永瀬 隆太 高橋 博章 高橋 一紀 三橋 計三 古橋 栄治 日下部 博志 芹野 慎司 瀧 哲也 黒木 成人 山本 哲史 守屋 清国 鈴木 恒律 大石 浩介

薄田 直樹 飯塚 康博 伊東 良浩 白石 繁雄 瀬古 公春 吉田 政登 岡田 憲和 馬場 貴浩

森山 賢一 武村 直樹 村井 広一 山下 雄三 武安 眞嗣 森本 幸樹 森田 健志 稲垣 孝彦 丸本 千彰

近畿
大阪 市(局)

枚方寝屋川(組)

神戸 市(局)

中国
下関地区広域行政(組)

岩国地区(組)

四国
松山 市(局)

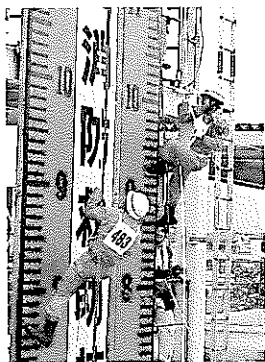
九州
筑紫野太宰府(組)

粕屋北部

松本 唯嗣
坊井 聡士
福本 健一
井上 光敏
中寺 一之
藤井 雅宏
川野 貴士
中井 正明
小椋 幸浩
吉岡 克典
北邨 清史
山端 康人
恩澤 康次
中西 泰宏
中東 健次
河内 徹生
石田 和久
富士永 寛
彌重 恵一
中川 功一
落合 友和
松岡 英夫
佐古 健
上田 弘幸
山本 泰孝
佐藤 和貴
浅山 隆敏
下田 雄二
長野 清幸
益川 勇二
由良 真
大神 崇敬
尾上 勉
山見坂成光
岩崎 智一

ロープ登はん(個人)

垂下されたロープを、手だけを
使つて十五メートル登はんする。
壁面を蹴ったり、足にロープを巻
き付けることなく、登はんしなけ
ればならない。



表彰者

北海道
南渡 島(準) 田中 春樹
上川南部(準) 岸 敬泰
東北
盛岡地区広域行政(組) 伊藤 一成
盛岡地区広域行政(組) 吉田 貴也
三条地域 赤塚健太郎
関東
館林地区(組) 大澤 敬介
筑西広域市町村圏(組) 藤田 哲志
千葉 市(局) 田邊 達也
袖ヶ浦市 勝呂 憲夫
東京消防庁 横 俊夫
東京消防庁 高橋 昇
川崎 市(局) 溝口 靖雄
横須賀 市(局) 鈴木 正人
東海
名古屋 市(局) 美島 正次
津 市 岸田 陽次
東近畿

近畿
京都 市(局)

大 阪 市(局)
大 阪 市(局)
柏原羽曳野藤井寺(組)

中国
池田 市

赤 磐(組)

四国
板野東部(組)

九州
福岡 市(局)
飯塚地区(組)
大島地区(組)

山本 昇

森 豊

神戸 克己
米田 治朗

清水 秀章
龍 浩史

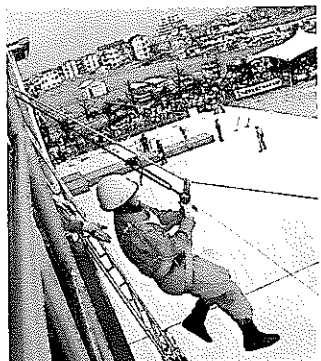
納所 浩典
渡 直人

池添 達也
松本 慧

末松 貴
吉田 剛
藤山 操

斜めブリッジ救助(団体)

五人一組(要救助者を含む)で、
三連はしごを活用して高さ七メー
トルの塔上に進入し、ロープで斜
めブリッジ線を展張、要救助者を
救出し、脱出する。高所から迅速
に要救助者を確保、救出するため
に必要不可欠な訓練。



表彰者

北海道

函館 市

札幌 市(局)

東北

盛岡地区広域行政(組)

二戸地区広域行政(組)

関東

那珂瓜連地区(準)

浦和 市

入間東部地区(組)

吉田 賢一
山下 雅史
市川 浩二
辻田 達也
柳本 憲治
柳山 康之
神馬 欣兒
加藤 力
早川 学
田中 英幸
瀬川 浩樹
松岡 信幸
高橋 潤哉
島 慎亨
藤島 慎吾
十文字和雄
沢田 和広
高峯 将喜
藤原 均
平船 朋行
森田 伸一
小田倉 力
小林 宏樹
大内 徹
笹島 均
杉内 潔
小島 周一
鈴木 康照
及川 真樹
伊藤 和裕
池長 久夫
金子 一幸
深野 高弘
柳川 和孝
上田 大寿

陸上の部

東京消防庁	井上 光忠	横 濱 市 局	清水 芳彦 笹野 康之 久保 蘭 章	海 老 名 市	鈴木 秀岳 安西 隆雄 小野 浩志	皆川 浩修 石渡 宏典 酒井 裕一朗	小川 修平 森 修平 武田 浩明	山田 信幸 南山 哲夫 奥原 治	東 海	林 雅雄 川村 浩二 河田 伸久	荻野 英樹 野村 明彦 原田 孝浩	浜島 信夫 秋田 公泰 水野 克彦	豊 明 市	岩田 恪太郎	東近畿	大西 誠司 宮木 薫 保下 昭次	山外 亮二 湯井 幸治 森田 成雄	植村 潤二 喜多 光晴	京 都 市 局
-------	-------	---------	--------------------------	---------	-------------------------	--------------------------	------------------------	------------------------	-----	------------------------	-------------------------	-------------------------	-------	--------	-----	------------------------	-------------------------	----------------	---------

近畿	枚方寝屋川 齋	神 戸 市 局	高橋 信人 森田 満 松本 貴士	中国	賀茂広域行政 齋	只重 伸治 小島 正一 谷本 剛	入川 誠 坂野 訓 金子 昌規	富岡 英文 花井 克己 由田 徳宏	森川 健二	四 国	高 松 市 局	谷本 悟 十河 由人 岡本 司	浜口 潔 田中 幸一	九州	泉中央地域広域市町村圏 齋	豆田 圭司 大門 龍也 橋本 貴之	吉原 幹雄 田嶋 勇治 豊田 透	渡邊 高士 澤田 一洋	宇 城 広 域
勝山 和彦	中村 暢数	前川 章	山内 嵩	清水 剛士 上農 和範 神尾 和則	高橋 信人 森田 満 松本 貴士	古市 泰士 知野 見明生	只重 伸治 小島 正一 谷本 剛	入川 誠 坂野 訓 金子 昌規	富岡 英文 花井 克己 由田 徳宏	森川 健二	谷本 悟 十河 由人 岡本 司	浜口 潔 田中 幸一	泉中央地域広域市町村圏 齋	豆田 圭司 大門 龍也 橋本 貴之	吉原 幹雄 田嶋 勇治 豊田 透	渡邊 高士 澤田 一洋	宇 城 広 域		

星田 健司 本田 公司	白岡 町	沼南 町	横 濱 市 局	座 間 市	海 老 名 市	東 海	山 部 西 部 齋	東 近 畿	京 都 市 局	宇 治 市	近 畿	大 阪 市 局	東 大 阪 市 局	東 大 阪 市 局	中 国	賀茂広域行政 齋	四 国	飯 綾 齋	板 野 東 部 齋	九 州	北 九 州 市 局	佐 世 保 市 局
登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。	登はん者と補助者が、二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。



表彰者

山本 剛	鈴木 博	浅海 誠	角川 和彦	荒井 信次	吉田 健一	井沢 隆	加藤 栄一	沢田 康弘	田口 洋一	加藤 守正	鈴木 淳之	服部 健吾	佐村 英和	松田 真治	春田 圭一	大西 竜太	須川 弘也	西岡 義博	堤 卓也	山添 正弘	河合 成之	北田 博昭	坂上 佐知雄	畑中 和博	信田 浩司	泉 貴仁	山中 雅司	大寺 義浩	千石 佳孝	片山 和彦	福井 良	中山 真一郎	中村 靖浩
------	------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	--------	-------

陸上の部

大隅肝属地区(組)

下八重克則
福山 幸作

障害突破(団体)

五人一組(補助者を含む)で、四人が一致協力し、緊密な連携で「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により、五つの障害を突破する。あらゆる災害現場を想定した訓練。



表彰者

北海道

札幌市(局)

高橋 直樹
福田 拓司
角橋 英樹
阿部 賢二
荒井 孝之
岡 英詩
佐藤 薫
古白川 仁典
山下 雅彦
北條 二郎

旭川市

東北
山形市

川田 洋朗
開沼 敬
高橋 伸治

新潟市(局)

関東

日立市

横浜市(局)

川崎市(局)

平塚市

相模原市

大和市

田方地区(組)

秋葉 卓
栗原 俊裕
根布 雄介
廣川 一弘
伊田 直人
杉本 信司
前田 信司

肥田 知久
大友 和人
小室 英之
佐々木 喜之
大西 元
植山 康司
札川 喜隆
弦卷 一男
加藤 靖弘
池内 正幸
金指 和浩
小泉 充広
原 光生
滝田 一彦
菅野 和久
佐藤 剛
富田 進一
山中 孝嘉
一寸木 英公
野口 弘樹
清水 俊伸
池見 和光
平本 友和
原 泰治
藤森 玄二
大内 一範
平岩 健
小林 秀雄
佐藤 優
荻島 正巳
島野 利夫

東海

名古屋市(局)

東近畿

富山市

京都市(局)

近畿

大阪市(局)

柏原 羽曳野 藤井寺(組)

神戸市(局)

中国
広島市(局)

甲斐 武
高林 大輔
山田 純也

成田 弘幸
森 誠一
内藤 克夫
光本 慎一
樫村 俊亮

小澤 喜治
広瀬 優
杉野 伸次郎
若島 豊紀
大森 清文
山元 健治
渡辺 憲司
西村 晃一
横谷 忠雄
後藤 淳

横得 順一
小林 竜三
井本 登巳彦
矢奥 賢
田中 智也

曾我部 浩治
中納 成和
柴 康行
小池 将二
水島 裕
岡本 晃始
上間 義宏
由良 哲朗
喜多 浩二郎
高村 浩二

佐々木 聖
浴井 仁史

岩国地区(組)

四国

高知市(局)

九州

筑紫野太宰府(組)

天

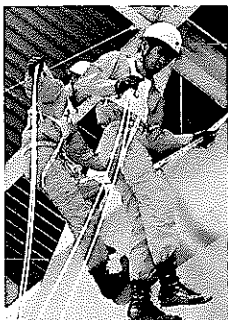
草(組)

鹿児島市(局)

湯浅 雄一
桜井 裕史
曾里 田真吾
丸茂 昌弘
樋口 幹雄
室本 貴士
西本 律志
大西 寛之

原 信仁
市原 英知
山本 篤史
和田 将志
橋詰 静雄

高原 健二
梶原 丈裕
田淵 真二郎
宮原 栄治
平木 誠
浦上 一敏
山下 伸介
荒木 克広
平山 浩二
平山 剛
坂元 幹也
下入 佐一隆
飯田 亮吾
高橋 利幸
水流 賢一



複合検索(個人)

マスク・フィン・スノーケルを着装して、浮遊障害物を突破しながら水中のリングを検索し、引き上げる。水中での行方不明者の検索を想定した種目。



表彰者

- 関東: 川口市 新宅寛征, 大宮市 新井洋, 横須賀市 佐藤正和, 藤沢市 辻村研一, 平塚市 山本幸一, 小田原市 中山康晴, 東海: 東海市 岩見一喜, 津市 杉江直記, 東近畿: 京都市 井上武, 京都市 恒松雄一郎, 和歌山市 寺田博紀, 大阪府 山中隆行, 大阪府 島山裕幸, 廣町市 廣部則行, 神戸市 阿部浩二, 中国: 賀茂広域行政圏 西川浩明

- 海田地区(組) 品川隆史, 松江地区広域行政組合(組) 門脇誠

基本泳法(個人)

「じゅんか飛び込み」で入水後、二種類の基本泳法(抜き手・平泳ぎ)を常に顔が水面に出た状態で行う。水難救助の基本技術。

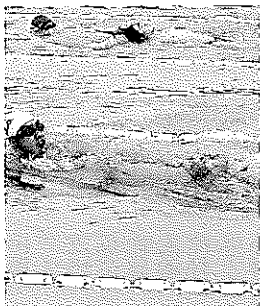


表彰者

- 関東: 東京消防庁 長澤哲也, 横浜市 越石元, 藤沢市 山下克至, 平塚市 井上義章, 長野市 水崎厚史, 裾野市 室伏郷志, 豊田市 鴨下昌章, 小牧市 小口利嘉, 各務原市 後藤利嘉

溺者搬送(団体)

二人一組(要救助者を含む)で、救助者は「じゅんか飛び込み」で入水後、溺者を注視しながら近づき、逆行の姿勢をとり「チンプー・ヘアークャリー」で救助する。



表彰者

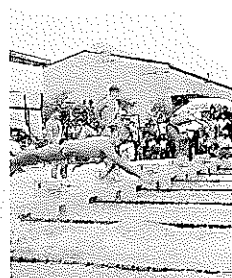
- 東近畿: 京都市 吉村彰二, 中和広域(組) 東口憲治, 伊都郡 矢田雅也, 近畿: 大阪府 西川暢彦, 茨木市 小林幹, 神戸市 岡部豪, 中国: 神戸市 高橋伸武, 東海: 東海市 折戸健治, 鳥取県 森田隆洋, 竹原広域 山野田薫瑠, 四国: 三豊地区広域市町村圏振興(組) 岩田康敬, 周 黒川直樹, 九州: 熊本市 古庄敦, 熊本市 酒井敬治

水中結索(団体)

- 関東: 千葉市 三橋亮, 横浜市 新濱秀樹, 川崎市 秋山和彦, 藤沢市 大城和仁, 東海: 名古屋市 山根吾朗, 岡崎市 鈴木茂, 近畿: 近藤貴志, 林田清輝, 黒田修二, 岡崎市 鈴木修二, 東近畿: 京都市 山本和己, 京都府 竹内義雄, 京都府 吉村彰二, 藤本公司, 近畿: 小嶋成幸, 高見浩一郎, 香西辰哉, 岡部豪, 荒木大輔, 堀田宗孝, 中国: 広島市 津元伸太, 金井俊巳, 四国: 高幡(組) 笹岡宏臣, 芝和宏, 九州: 佐賀市 山口博文, 藤田潤一郎, 熊本市 下村保宏

水上の部

三人一組で、水中の結索環に、第一泳者「もやい結び」、第二泳者「巻き結び」、第三泳者「ふた回りふた結び」の三種の指定した結索を行う。水中における結索技術の習得を図る種目。



表彰者

関東
東京消防庁

東京消防庁

相模原市

東海
小牧市

東近畿
大津市

近畿
大阪市(局)

大阪市(局)

中川 博至
飯田 泰弘
栢本 英文
菊地 剛之
伊藤 剛之
袴田 信一
江成 幸夫
加瀬 貴志
齋島 章

松野 直樹
伊藤 孝雄
野村 伸司

弓坂 則行
重盛 篤樹
北野 充

大海 朋誠
加賀 朋誠
小野 亨

村田 哲
荒卷 大策

神戸市(局)

中国
津山圏域(組)

四国
大洲地区広域(車)

九州
熊本市(局)

熊本市(局)

一木 邦彦
笠松 学
阿部 浩二

西川 健治

近藤 征人
赤松 昭治
武本 義徳

高岡 秀彰
平田 勝俊
富永 真史

藤城 秀暢
山田 健一
金子 義和
下村 保
藤山 修一
服部 大輔

溺者救助(団体)

三人一組(要救助者を含む)で、救助者と補助者の二人が協力して浮環に救助ロープを結着、補助者がプール内に投下、救助者が二十メートル先の要救助者の位置まで搬送、これに要救助者を掴まらせ補助者が救助ロープをけん引救助する。



表彰者

関東
横浜市(局)

川崎市(局)

藤沢市

東海
豊田市

東近畿
京都市(局)

近畿
大阪市(局)

大阪市(局)

神戸市(局)

九州
神埼地区(車)

熊本市(局)

秋山 和彦
青木 勉

神沢 崇
中澤 智
和田 啓二

藤江 誠
鈴木 茂
栗山 孝明
渡邊 英明

鈴木 正人
鴨下 章
岡田健太郎

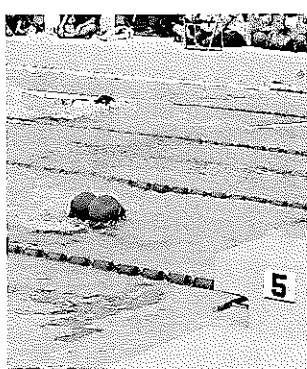
山本 幸伸
佐藤 正和
佐々木康裕

加賀 朋司
高垣 忠利
渡場 正司
神谷 芳之
岡田 利道
一木 邦彦
有田 達洋
宮村 利幸
矢野 孔明

松本優一朗
野中 哲
生島 和孝
服部 大輔
松永 昭博
酒井 敬治

人命救助(団体)

三人一組(要救助者を含む)で、救助者は「二重もやい結び」の救助ロープをたすき掛けにし、溺者の位置に至り、要救助者を「ク口スチエストキヤリ」の体勢で確保し、救助者のたぐり寄せロープを利用して救助後、水没しつつある要救助者(マネキン)救助人形(人形)を水面に引き揚げ救助する。



表彰者

北海道
札幌市(局)

関東
東京消防庁

東京消防庁

東海
岐阜市

東近畿
京都市(局)

芦名 靖志
難波 秀樹
高橋 和史

伊東 英明
勝田 崇
長澤 哲也
福島 剛
栃木 秀則
伏木 義和

長屋 泰明
高橋 良典
辻 博明

石坂 隆則
荒木 茂

近畿	東山 誠
大阪 市(局)	左近 究
中国	西川 暢彦
広島 市(局)	渡場 正司
徳島 市(局)	田川 重信
	上岡 忠直
	浅元 光由
	秋山 泰孝
	高山 信吾
	角瀬 賢三

水中検索救助(団体)

四人一組で、第一泳者が水面、第二泳者が水中を検索し、水没している要救助者(マネキン「訓練人形」)を発見後、水面に引き揚げ、第三、第四泳者が交互に対岸間を運んで泳ぎ救助する。



表彰者

関東
東京消防庁

加藤 昌明
松下 豊
梶木 秀則
袴田 信一

藤沢 市	岩崎 健太
山口 徳和	山下 克至
東海	辻村 研士
小牧 市	松野 直樹
	伊藤 孝雄
	小口 昌男
	石井 洋行
東近畿	西田 誠
京都 市(局)	恒松雄一郎
	井上 武
	佐藤 正和
	泰地 達也
	小田 正裕
	山星 賢一
	吉本 親央
	田村 和照
	高橋 伸武
	香西 辰哉
	鈴木 三郎
中国	吉川 典秀
海田地区(組)	品川 隆史
	谷本 瑞樹
	水野 茂貴
四国	秋山 勝彦
高松 市(局)	東條 仁
	黒川登志仁
	湊谷 義和
九州	吉本 賢一
天 草(組)	戸村 羊士
	田中 明彦
	山下 誠

インタビュー

●成田 千鶴さん (愛知県・後列左側)

インタビューの項目

- ① 救助大会を見ての感想は?
- ② あなたのなかにある「救助隊員」のイメージは?
- ③ いかなる災害にも立ち向かう救助隊員に一言。
- ④ 消防に対する要望等があればお聞かせください。



●ゴッドフリーさん (セント・ルシア・右側)

●アルンさん(インド・左側)

ゴッドフリーさん

- ① 日常の訓練を見てきて、さらに、今日、全国から集まった精鋭たちの訓練を見学して、技量の高さに感心する一方、どんな災害が発生しても大丈夫だと安心した。
- ② 機敏な動きで、どんな困難な現場にも対応する「プロフェッショナル」。
- ③ 自分の国に比べ、技術レベルが高くすばらしい。
- ④ 訓練を見ていて「ファイティング・スピリッツ」が伝わってきた。どんな困難なことでもやり遂げようとする信念を感じた。

アルンさん

- ① 今日の大会種目は、救助の基本となる訓練が多く取り入れられているが、この基本動作の一つひとつが積み上げられて、色々な現場での応用技術につながっているのだと思うので、大変参考になった。まさに「スーパーマン」の一言。
- ② 日々の反復訓練の成果であろうとは分かっているが、考えずとも体が勝手に動いているのに感銘を受けた。
- ④ 私の国インドに比べ日本はすば

- ① 今年で4回目の全国大会見学ですが、毎回「感動」の一言です。特に今年は、訓練棟横のオーロラビジョンで、隊員の表情までが映し出され最高でした。
- ② 元気があり、いつもイキイキとしていて、ひとたび災害が起これば、体を張って危険に立ち向かう勇氣あるひと。
- ③ 人命を預かる使命感に燃えているのが、ひしひしと解ります。これからも一人でも多くの人命を救って下さい。
- ④ 自らの危険を顧みず、災害に立ち向かっておられる皆さんへ、体に気を付けて頑張ってください。

らしいと聞いていたが、自分の目で見て、体験して、最新装備や高度な救助技術におどろいている。

●矢部 明子さん(兵庫県)



① 日頃の訓練の成果が、この大会で発揮できるように成るまでの、日々の積み重ねは想像以上のものだろうと感心しました。

② 力強くてたくましい、精神的に強い人だと思えます。

③ 大変な仕事だと思えますが、怪我のないよう頑張ってください。

④ 完璧です。何も言うことはありません。

●中橋加奈恵さん(大阪府・左側)



① 近畿の大会とはまた違い、家族が全国から集まった精鋭の隊員さん達と同じ場に出場していることを、誇りに感じました。

② 熱いものを持っている、気合いの入った人というイメージ。

③ 「人命」と自分の命を懸けた誇りのある仕事、これからもガンバってください。

④ 人命を預かる大事な仕事だから、

人員を増やして救助隊員をもっと増やし、私たちが安心して生活できるようにして下さい。

●鈴木 理恵さん(神奈川県・右側)
●鈴木ミドリさん(神奈川県)



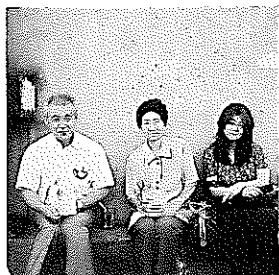
① 隊員の皆さんの鍛えられた姿と躍動的で機敏な動きに感動しました。

② 訓練をしているところばかりを見ていたので、大変な仕事をこなしてしまいうまい人達だと思います。

③ どのような災害に遭遇しても、一途に立ち向かっていく救助隊員の方に、ガンバッテいただきたいと思います。

④ いかなる災害をも、未然に防いで下さる消防の方には、心強く思いますが、いつも心から感謝しています。

●森 時弘さん(愛知県・左側)



① 全国大会という規模、レベルに

圧倒された。知らない者同士親しみができ、気ができていき、全国の救助隊員がひとつになつていく様子をたたくましく感じる。

② 数年前からマスコミなどで取り上げられ、注目を受けてきている救助隊員を誇りに思う。

③ 人を助ける仕事です。これからも頑張ってください。

④ 組織として、もつときめ細かいサービスや高齢者の対策もして下さい。

●脇田 美穂さん(広島県・右側)



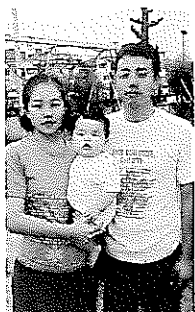
① 普段はやさしい表情が、訓練会場に入った瞬間から顔つきが変わり、一生懸命さが伝わってきて、全国大会の凄さに感動しました。

② 何事に対しても一生懸命取り組みというイメージ。

③ 助けを求めている人をひとりでも多く助けてあげて下さい。

④ これまでのように困っている人を助けて下さい。

●岩田 友美さん(岐阜県・左側)



① 大会で活躍されている隊員の姿を見て、訓練の重要性和厳しさを感じました。

② 非常にたくましく、どんな時にも頼り甲斐があると思います。

③ 災害によつては、救助隊員の方の命にも関わる現場もあるので、普段からの訓練や勉強と一緒に、家族特に奥さんがある方は奥さんとのコミュニケーションを大切にして下さい。

④ 日常の仕事場でも災害現場でも無理難題を言う一般の方もおられると思いますが、自分の仕事に信念を持って頑張ってください。

●福山 美雪さん(鹿児島県)
●小久保美香さん(鹿児島県)
●伊藤 文子さん(鹿児島県)
●横山 和代さん(鹿児島県)



① 感動しました。地区指導会とちがいで見ている方も隊員と一緒に緊張しました。

② こんな緊張の中、いつもと同じ様に出来るなんて、やはり日頃の訓練の重要性を感じました。

③ 頼り甲斐があり、勇ましくゴツゴツした見た目とは違って優しくてカッコイイ人達。

④ 日頃の訓練で身につけた技術と

④ この大会を見ればもう何も言うことはありません。

● 浦川 政美さん(大阪府)
● 東 美千代さん(大阪府・左側)



① 地道な訓練の積み重ねを経て、はじめて得ることの出来る技術、知識、精神力を発揮して、全国大会に出場出来ること、また、発揮することのできる大会があることは、すばらしいことだと思えます。

② たくましく、常に訓練をやっている、どんなときも訓練のことを考えているようなイメージがします。

③ 危険な災害に立ち向かう仕事をされているので、身体に気を付けて頑張ってください。

④ 特にありません。

● 仲上 廣さん(埼玉県)



① 救助隊員の方が、一生懸命訓練されている姿を見て感動し、どの

ような災害が起こっても大丈夫だと安心しました。

② いつまでもいきいきと活躍される「救助隊員」の姿をイメージします。

③ 一般の仕事とは異なり、仕事場は常に危険と背中合わせの所ばかりだと思うので、自分の安全をきっちり確保したうえで、救助活動に励んで下さい。

④ 陸、海、空一体での訓練を常に、いかなる災害にも対応できる総合的な消防活動が出来るようにして下さい。

● 佐々木祐子さん(京都府)



① 出場選手の顔が「リン」として、みんな充実しているのが伝わってきて、こちらまで興奮しました。

② 「勇ましい」、どんな現場に遭遇しても、救助を可能にしようから。

③ 体に気を付けて下さい。

④ 特にありませんが、記念品をもっと用意しておいてほしい、買いに行った時には売り切れでした。

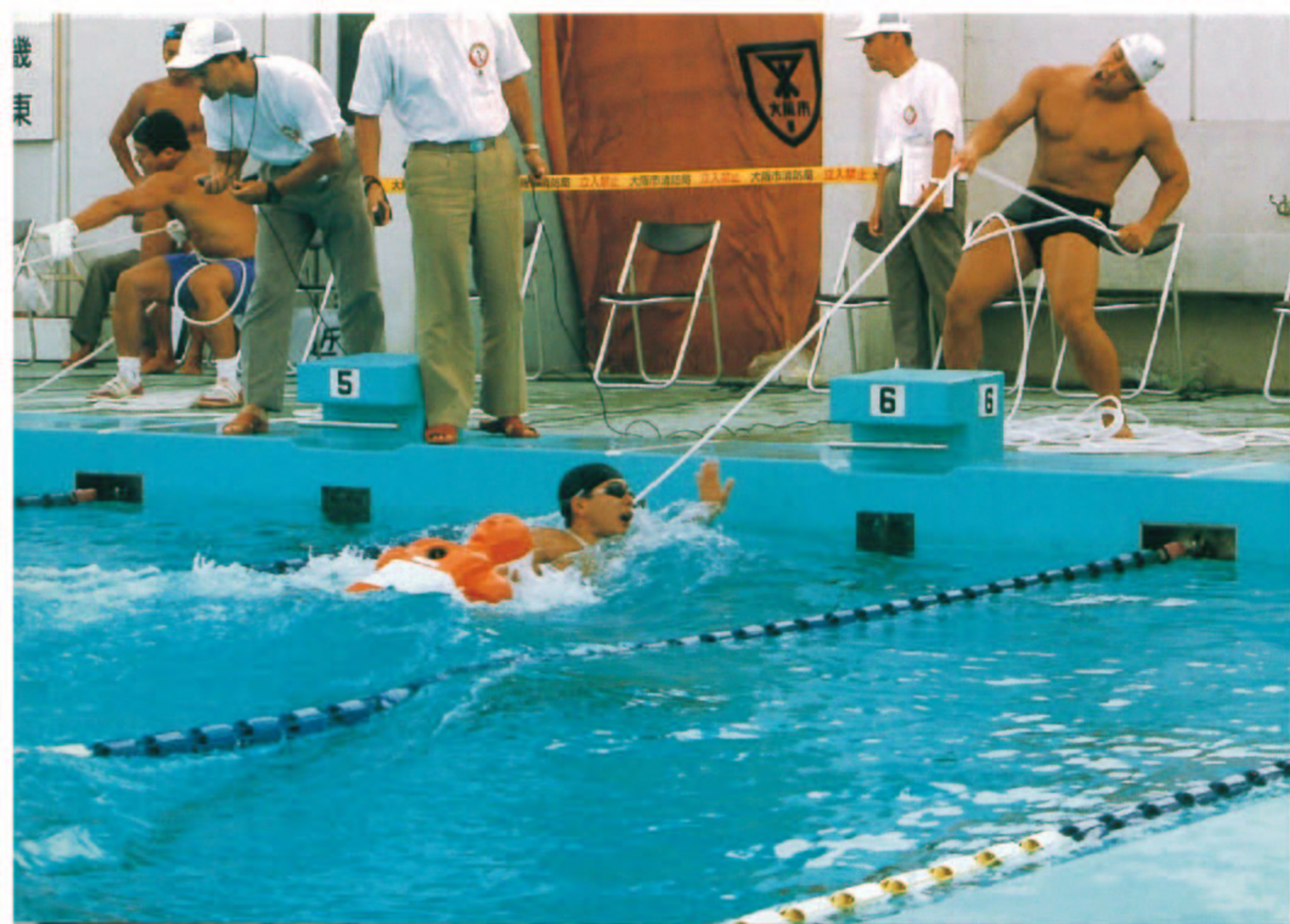
大会経過

第1回	昭和47年 9月28日	東京都 豊島公園
第2回	昭和48年 9月21日	大阪市 扇町公園
第3回	昭和49年 9月18日	横浜市 県立保土ヶ谷公園
第4回	昭和50年 9月10日	東京都 平和島公園
第5回	昭和51年 9月10日	名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第6回	昭和52年 8月5日	横浜市 消防訓練センター
第7回	昭和53年 8月22日	千葉県 消防学校
第8回	昭和54年 8月24日	大阪市 消防学校
第9回	昭和55年 8月29日	名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第10回	昭和56年 8月19日	横浜市 消防訓練センター
第11回	昭和57年 8月19日	横浜市 消防訓練センター
第12回	昭和58年 8月19日	大阪市 大阪城公園・消防学校
第13回	昭和59年 8月24日	名古屋市 白川公園・瑞穂プール

第14回	昭和60年 8月22日	広島市 中央公園・県立屋内プール
第15回	昭和61年 8月22日	神戸市 市民防災総合センター・神戸市王子プール
第16回	昭和62年 8月21日	千葉市 県消防学校
第17回	昭和63年 8月19日	横浜市 消防訓練センター
第18回	平成元年 8月25日	名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第19回	平成2年 8月24日	広島市 中央公園・ファミリープール
第20回	平成3年 8月28日	大阪市 消防学校
第21回	平成4年 8月28日	千葉市 県消防学校
第22回	平成5年 8月20日	福岡市 アジア太平洋センター建設用地・県立総合プール
第23回	平成6年 8月25日	京都市 京都市消防学校
第24回	平成7年 8月25日	北九州市 北九州市文化記念公園
第25回	平成8年 8月23日	札幌市 札幌市消防訓練場・札幌平岸プール
第26回	平成9年 8月22日	千葉市 県消防学校

大会ダイジェスト





第17号

平成10年9月20日発行

編集発行 (財) 全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区飯田橋3-11-13

(飯田橋豊国ビル) 電話03(3234)1321(代)